
時

K2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
時

【Nコード】
N9078C

【作者名】
K2

【あらすじ】
光来、矢吹、七瀬のバカっぽい休みの日の話

(前書き)

初めての方は、先に「逃げ道」↓「ガキ」↓「思い」↓「わかって
いる、けれど・・・」を読まれた方がわかりやすいと思います。

「うゝわゝ 雨降り出した」

屯所内の稽古用道場に 光来と矢吹、七瀬がいる。

「せっかく、俺らオフなのに」

「気分 下がりますね」

3人は、開けられた扉の外を見ながらグチをこぼす。
振り込む雨

「つめて・・・誰かドア閉めて」

「お前が1番年下だ行け」 「矢吹が密偵だ 行け」

「イヤですよ」

「じゃあ 七瀬 やっぱお前だ」

「なんで？」

「1番 髪がつんつんだ」

「光来 泣きボクロがあるのは、お前だ 行け」

「矢吹 ナルシストっぽいぞ 行け」

「光来隊長 男からよくモテてますよ 行ってください」

「七瀬 お前は、7だ1じゃない」

「矢吹 髪が黒い」

「七瀬隊長 見た目チャライです」

「光来 やっぱお前ガキだ」

「七瀬 中身ガキじゃん」 「ウソオ 俺 見た目チャラくて中身ガキ？」

光来と矢吹が同時にうなづく。

「マジか・・・どーしよ頑張って直そっかな」

「無理だろ」

「無理ですよ」

「即答ですか2人とも」

「決まりませんね」

「今度は、無視か？」

「じゃーんけーん……」

道場で眠っている3人

「ん？ うっわ 寝てた」

「ふぁゝあ あれ？」

「矢吹 俺いつ寝た？」

「わかりません 俺もいつの間にか……」
七瀬を見る。

「コイツは、起きないわけ？」

「みたいですネ」

ザァー――

「雨 やまねーな」

「時間も進みませんね」

30分くらいしか 経ってない。

「んゝ」

ゆっくり 起き上がる七瀬「おはよー」

「おはよ あれ？ ドア誰が閉めたの？」

「そういえば……誰？」

「知りませんよ」

3人が顔を見合わせる。

「ココ通った隊士だよなー」

アハハと笑う3人。

「そうそう 俺 さっき

”時間” って言葉で思い出した」

「何をですか？」

「聞きたい？ 沖田さんの話」

「聞きてえ 夕くんの何？」

「1年ぐらい前な……」

—1年前—

「雨だ・・・」

タバコの臭い 雨の音 湿気・・・

「最悪ですね 沖田さん」

「ああ？」

「・・・」

「どーでもいいが、話かけんな 俺は、仕事中だ」 「俺は、オフです」

「しるかっ」

ザアア————

途絶えないタバコの煙り

「最近 量 多くないですか？」

「変わんねーよ」

「いや：：多い」

「雨が續いてるからな：：・・・」

「雨 ですか・・・時間が戻ればいいのに」

「終わった」

トントンと書類を揃える。

「光来」

「なんですか？」

「時は、前に進むだけだぞ」

「わかってますけど、戻ればいいこといっぱいあったじゃないですか」

光来を抱き寄せる。

「戻れば同じこと 繰り返すだけ だけど、進めば新しいことが増える」

「そうですね」

「それに」

押し倒す

「俺という時間も増える」

「現在」

「と、いうわけ」

「ふーん

時は前に進むだけっていうのは、カッコイイけどその後してることエロいな」

「だろ 俺 カッキーって思ったけど その後、ミゾ蹴って逃げたもん」

「ですよ 俺も逃げますよ 最後がそんなんだったら」
ザアアア――――

「雨 やまねーな」

「時間は、経ちますけどね」

「俺達のオフがあああつ」

時は前に進むだけ。

終劇

（後書き）

最後まで読んでいただきありがとうございます。この作品は、自分でも気に入っているものです。ぜひ感想など お聞かせ下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9078c/>

時

2010年10月25日22時05分発行